

トピックス 02 シティ・ステーションでマイナンバーカードの申請補助を開始

固 市民サービス部戸籍・住基担当(☎824・9188)

シティ・ステーションで、顔写真の撮影などのマイナンバーカード申請を補助します。

日時 月曜日～金曜日の午前9時～午後5時(祝日を除く)

※市に住民登録している人が来てください。15歳未満又は成年被後見人が手続きをするときは、法定代理人が同行してください。

- 場所**
- ねやがわシティ・ステーション
 - 香里園シティ・ステーション
 - 萱島シティ・ステーション
 - 西シティ・ステーション
 - 東シティ・ステーション
- ※堀溝サービス窓口では実施していません。



- 必要なもの**
- QRコード付きの申請書
 - 本人確認書類(運転免許証・保険証など1点)

トピックス 03 妊娠期からのサポートをもっと手厚く

助産師の家庭訪問と育児相談 固 子育て支援課(☎838・0374)

妊娠期から切れ目のない支援を手厚く行い、ママの不安を解消します。

助産師による家庭訪問 2回→4回に!

妊娠期からの地域の助産師「MYCITY助産師」による家庭訪問回数を2回から4回(多胎児家庭は7回)に拡充します。「安産に向け、妊娠中どんなことに気をつけたらいいの?」「赤ちゃんとの生活に向けて、家族でどんな準備が必要なの?」など、妊娠中の困り事を気軽に相談してください。

私たちに相談してください!



申込 郵送又は電話で子育て支援課(〒572-8533池田西町28番22号☎838・0374)

育児相談のLINE予約

市公式LINEアカウントで相談などの予約ができます。下のQRコードから友だち登録し、子育て情報の配信を「希望する」にチェックしてください。

5月中スタート!

- 窓口相談
- 「MYCITY助産師」の家庭訪問
- オンライン育児相談



市公式LINEアカウント

トピックス 01 令和元年度 財務書類を作成

固 財政課(☎825・2041)

市の財政状況(資産・負債など)を正確に把握し、効率的な財政運営などに役立てるため、民間企業の会計手法などを取り入れた国の示す「統一的な基準」による財務書類を作成しました。

貸借対照表 市が住民サービスを提供するために、どれだけの資産を保有し、その資産がどのような財源で賄われているかを一覧で表したものです (単位:億円△はマイナス)

| 資産の部 | | | | 負債の部 | | | |
|---|---------|---------|-------|-----------------------------------|---------|---------|-------|
| 市が保有している財産 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比 | 将来世代の負担 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比 |
| 固定資産 市役所・学校などの公共施設や道路・公園などのインフラ施設など | 2,078.7 | 2,071.5 | +7.2 | 固定負債 借入金(市債)など | 636.1 | 638.9 | △2.8 |
| 流動資産 現金預金、未収金、財政調整基金など | 136.2 | 106.5 | +29.7 | 流動負債 翌年度に返済予定の借入金(市債)など | 64.6 | 65.6 | △1.0 |
| | | | | 負債合計 | 700.6 | 704.4 | △3.8 |
| | | | | 純資産の部 | | | |
| | | | | これまでの世代の負担 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比 |
| | | | | 純資産 | 1,514.2 | 1,473.6 | +40.7 |
| 資産合計 | 2,214.9 | 2,178.0 | +36.9 | 負債及び純資産合計 | 2,214.9 | 2,178.0 | +36.9 |

※数値は表示単位未満を四捨五入しているため、各項目の数値と合計額などが合わない場合があります。

Q 家計に例えると?

A. 分かりやすく家計に置き換えてみると以下のとおりです。資産の部は土地や住宅、現金などの資産を表し、負債の部は、その資産を手に入れるための借金を、純資産は資産を手に入れるために既に支払った自己資金を表します。

Q 市民一人当たりの貸借対照表はどうなっているの?

A. 令和2年3月31日時点の人口(231,189人)で以下のとおりです。

| | |
|-----------|-----------|
| 資産 | 負債 |
| 95万8,000円 | 30万3,000円 |
| | 純資産 |
| | 65万5,000円 |

Q 将来世代の負担(負債)はどれくらい?

A. 市民一人当たり30万3,000円で、資産の約3分の1に当たります。残りの3分の2はこれまでの世代の負担(純資産)です。

Q 負債が減少したのはなぜ?

A. 将来世代の負担軽減のため、市債の発行を抑制するとともに、借換債の発行を抑制し一括返済を行ったためです。

Q 固定資産が増えたのはなぜ?

A. 都市計画道路対馬江大利線の整備に向けた用地取得などを行ったためです。

Q 市の公共施設やインフラの老朽化は?

A. 耐用年数に対して約6割の年数が経過しており、老朽化が進んでいます。今後、計画的な修繕や更新が必要です。

Q 流動資産が増えたのはなぜ?

A. 将来世代の負担軽減のために基金を積み立てたためです。

貸借対照表を家計に例えると

